



愛知工業大学情報電子専門学校
愛知工業大学名電高等学校
愛知工業大学附属中学校

目次	
大学の陣容決まる	2
附中卓球部全国1	3
人事異動・組織変	4-8
卒業式	9
入学式	10
キャンパスから	11
将棋部男女全国へ	12
発行所 名古屋電気学園 〒470-0392 豊田市八草町八千草1247 TEL (0565) 48-8177	

学園の平成25年度人事、組織決まる

大学副学長に井教授、専門学校校長に稲垣前大学副学長、高校・中学校長に久保副校長がそれぞれ就任

名古屋電気学園は四月一日、平成二十五年度の組織変更、人事異動を行います。組織変更では学園創立百周年に合わせ設置した学園百周年事業準備室の廃止など、主な人事では愛工大副学長に井研治工学部教授、愛工大情報電子専門学校校長に稲垣慎二前愛工大副学長、愛工大名電高等学校・愛工大附属中学校校長に久保芳孝副校長らが就任しました。



久保高・中学校長



稲垣専門学校長



井大学副学長

今回の組織変更及び事務分掌の変更で、学園事務局長の学園百周年事業準備室を廃止し、残った業務を総務部へ、また、秘書室の愛名

会業務を総務部へ移管しました。大学事務局の経営学部・八草キャンパス事務室を廃止して、スポーツマネジメント専攻関係業務を情報科学部事務室に移しました。大学三センター(教学・入試・キャリア)の次長をそれぞれ事務部長に改称しました。



辞令交付式で新規採用職員らを前に挨拶する後藤淳理事長

基礎教育センター教授、名電高等学校教頭に中村栄一教諭、附属中学校教頭に渡辺真教諭、事務局システム管理部長・情報教育支援課長に近藤修司同次長・情報教育支援課長、大学事務局

学務部長兼庶務課長兼事務局財務部次長に伊藤忍事務局財務部次長らが新しく就任しました。(人事異動と組織変更詳細は四ページ〜八ページに掲載)

辞令交付と年度始め式で新年度スタート切る

学園は四月一日、辞令交付式と年度始め式を八草キャンパスで行ない、新年度のスタートを切りました。辞令交付式は新規採用者に対する辞令交付を皮切りに行なわれました。

新規採用者辞令交付式で後藤淳理事長は新しい教職員を前に、昨年の名古屋電気学園創立百周年に触れ、大正元年の『名古屋電気学校』開学から現在の愛知工業大学、愛工大情報電子専門学校、愛工大名電高等学校、愛工大附属中学校を擁する総合学園に至るまでの道のりを語り、「学園に早く慣れ、これまで続けてきた学園の勢いを伸ばすとともに伝統を受け継ぎ、それぞれの持ち場で頑張ってください。皆さんの活躍を期待しています」と激励しました。



平成25年度スタートにあたり学園、愛知工業大学の教職員が出席して開かれた『年度始め式』

この後、『年度始め式』が10号館大講義室で行なわれ、後藤淳理事長が「今年度は次のステップへ向けてスタートを切る年です、良い成果を挙げられるように頑張りましょう」と述べ、後藤泰之学長が「映画作りで学生に自信をつけさせ、社会へ送り出したい」と語りました。

また、大学教育等の発展に多大な貢献をした教職員に贈られる学長賞の表彰が併せて同席で行なわれました。

(学長賞詳細は三ページで紹介)

愛工大の平成25年度体制決まる

ゴシックは新任



四月一日付人事異動で大学の平成二十五年度新体制が左表のようになります。決まりました。新しく副学長に

井研治教授、経営学部長に山本勝教授、基礎教育センター長に安藤光史教授、工学研究科長に山田英介教授、経営情報科学研究科長に近藤高司教授、学生支援本部長に鈴木達夫教授、教学センター長に杉野丞教授、同副センター長に鈴木森晶教授、学習支援センター長に柳井裕道教授、計算センター長に伊藤雅教授、耐震実験センター長に

総長	後藤 淳・理事長
学長	後藤 泰之・学長
副学長	鈴木 達夫・経営学部教授
副学長	井 研治・工学部教授
工学部長	成田 国朝・工学部教授
経営学部長 経営情報科学部長	山本 勝・経営学部教授
情報科学部長	末永 康仁・情報科学部教授
基礎教育センター長	安藤 光史・基礎教育センター教授
工学研究科長	山田 英介・工学部教授
経営情報科学研究科長	近藤 高司・経営学部教授
学生支援本部長	鈴木 達夫・経営学部教授
教学センター長	杉野 丞・工学部教授
教学センター副センター長	鈴木 森晶・工学部教授
キャリアセンター長	渡辺 修・工学部教授
エクステンションセンター長	森 豪・基礎教育センター教授
学習支援センター長	柳井 裕道・基礎教育センター教授
入試センター長	服部 洋兒・経営学部教授
図書館長	吉賀 憲夫・基礎教育センター教授
計算センター長	伊藤 雅・情報科学部教授
総合技術研究所長	澤木 宣彦・工学部教授
耐震実験センター長	山田 和夫・工学部教授
地域防災研究センター長	正木 和明・工学部教授
エコ電力研究センター長	一柳勝宏・工学部教授
高大連携推進室長 (名電含)	曾我部博之・工学部教授
国際交流室長	櫛田玄一郎・工学部教授
本山キャンパス長	近藤 高司・経営学部教授
大学事務局長	鈴木 康・大学事務局次長

【写真は、上段左から順に山本経営学部長、安藤基礎教育センター長、山田(英)工学研究科長、近藤経営情報科学研究科長、鈴木(達)学生支援本部長、杉野教学センター長、鈴木(森)副センター長、柳井学習支援セ

験センター長に山田和夫教授が就任、事務方トップとして大学事務局長に鈴木康大学事務局次長が昇任しました。



写真

三月末で定年退職する稲恒慎二副学長ら大学教員を温かく送り出そうと関係の学科、卒業生らによる記念のサヨナラ講義が二月から三月にかけて、八草キャンパス内で行なわれました。三月九日、愛和会館で行なわれた都市環境学科・青木徹彦、四俣正俊両教授のサヨナラ講義では、青木教授が研究生活などを振り返り、最後にバイオリンの演奏も披露し講義を締めくくりました。

青木教授らがサヨナラ講義

【総長補佐】澤木宣彦・工学部教授▽野村健太郎・経営学部特任教授▽架谷昌信・工学部特任教授
【顧問】鷲見哲雄・工学部客員教授▽稲垣慎二・工学部特任教授
また、総長補佐、顧問は左の通りです。
ンター長、伊藤計算センター長、山田(和)耐震実験センター長
【顧問】鷲見哲雄・工学部客員教授▽稲垣慎二・工学部特任教授

愛工大附属中学校卓球部が全国優勝 学園が学園表彰で栄誉と健闘を称える



卓球部男子は三月二十五日、二十六日、奈良市で行なわれた「第14回全国中学選抜卓球大会」男子団体戦に出場。予選リーグ1位で決勝トーナメントに進出し、野田学園などの強豪を下して決勝で「七連覇」中の青森山田中学校と対戦しました。

愛工大附属中学校卓球部男子が全国中学選抜卓球大会で強豪・青森山田中学校（青森県）を破り、初優勝に輝きました。学園は卓球部男子を学園表彰し優勝メンバー**写真上**に記念の盾を贈りました。メンバーは表敬訪問した名古屋市の河村たかし市長からも祝福を受けました。

勝経験があるものの、春の全国中学選抜大会は青森山田中学校の厚い壁に阻まれて、優勝できなかったことから喜びも一入です。

学園は四月二十四日、名古屋市内のホテルで祝賀会を開き、大会に出場した真田浩二監督、顧問の今枝一郎高校教諭、増田朗若水事

大会は、単複に重複出場が出来ないルールから、大西尚弥主将（三年）ら出場選手六人全員による厳しい試合の連続でしたが、3・1で青森山田中学校を破って、栄冠を手にしました。卓球部男子は、夏の全国中学校卓球大会で何度も優



祝賀会で後藤淳理事長から学園表彰される大西主将ら優勝メンバーの選手



河村名古屋市長に優勝報告を行い、「おめでとう」と祝福され、市長（右から5人目）と記念の写真を撮る優勝メンバーら

部主査と大西主将、松山祐季（三年）、木造勇人、高見真己、太田輝、松山洋季（いずれも二年）の六選手を表彰しました。理事長が真田監督、二人の顧問に賞状などを贈った後、大西主将ほか一人ひとりの選手に記念の盾、賞状を手渡して「おめでとう」と優勝を称えていました。

久保芳孝校長、大西主将らは五月七日、市役所に河村市長を訪問し、優勝報告を行ない「今後の活躍を期待しています」と激励を受けました。

愛工大の江上泰広教授、水野慎士准教授に「平成24年度学長賞」



「平成24年度学長賞」に江上泰広機械学科教授と水野慎士情報科学科准教授が選ばれました。学長賞は建学の精神、教育の理念に基づき、本学の教育・研究及び管理運営等の発展に多大な貢献をした教職員に平成十八年度から贈られています。

今回、学長賞に選ばれた江上教授は機械工学の分野でもっとも権威ある日本機械学会から優れた研究論文に贈られる日本機械学会賞を二度も受賞するなど、大学の研究振興に多大な貢献をされました。また、水野准教授は映像システムGAYAIT（ガイイト）を本学客員教授の堤幸彦映画監督や卒業生と共に提案、開発。この他にも本学学生と共同で開発したインタラクティブアートは、CGやマルチメディア分野の論文コンテストで最優秀プレゼンテーション賞を受賞するなど映像メディアの分野で優れた業績をあげただけでなく、本学の教育振興及び広報活動にも大きく貢献しました。

表彰は年度始め式で

表彰は「年度始め式」の中で行なわれ、後藤泰之学長が江上教授、水野准教授にそれぞれ賞状と記念品を贈り、大学への貢献を称えました。

【写真は、後藤泰之学長（前列中央）を囲み学長賞受賞の江上教授（同左端）、水野准教授（同右端）と井副学長、鈴木副学長、鈴木康大学事務局長（後列左から）】

学園は4月1日付で組織変更と人事異動を行いました。詳細は以下の通りです。(敬称は略)

平成25年4月1日付の組織変更と人事異動

◇人事関係

◆組織変更等(平成25年4月1日実施)

(1) 学園事務局

① 学園百周年事業準備室を廃止。残った業務は総務部へ移管。

② 秘書室の愛名会業務を総務部へ移管。

(2) 大学事務局

① 経営学部の八草キャンパス事務室を廃止。スポーツマネジメント専攻関係業務は情報科学部事務局へ移管。

② 大学の3センター(教学・入試・キャリア)の次長を事務部長に改称する。

◆人事異動(4月1日付、退職・兼務解除は3月31日付)

(カッコ内は前職、「・」は兼務、組織名称の変更者、及び敬称は省略)

【任命】(継続・再任を除く)

<大学>

副学長	工学部電気学科教授	井	研治
経営学部長・経営情報科学部長	経営学部経営学科教授	山本	勝
基礎教育センター長	基礎教育センター教授	安藤	光史
大学院工学研究科長	工学部応用化学科教授	山田	英介
大学院経営情報科学研究科長	経営学部経営学科教授	近藤	高司
学生支援本部長	経営学部経営学科教授・副学長	鈴木	達夫
教学センター長	工学部建築学科教授	杉野	丞
教学センター副センター長	工学部都市環境学科教授	鈴木	森晶
学習支援センター長	基礎教育センター教授	柳井	裕道
計算センター長	情報科学部情報科学科教授	伊藤	雅
耐震実験センター長	工学部建築学科教授	山田	和夫

<高校>

校長・中学校長(副校長・中学副校長)	高校教諭	久保	芳孝
教頭	高校教諭	中村	栄一

<中学>

教頭(主事)	中学・高校教諭	渡辺	真
--------	---------	----	---

<専門学校>

校長・大学特任教授・顧問(大学工学部応用化学科教授・副学長)		稲垣	慎二
特任教授(教授)		掛布	英辰

【新規採用】

<大学>

工学部電気学科教授	大久保	仁
工学部機械学科教授	三宅	慶明
工学部機械学科准教授	山田	章
工学部都市環境学科准教授	赤堀	良介
工学部応用化学科講師	糸井	弘行
経営学部経営学科講師	老平	崇了
基礎教育センター講師	巖佐	正智

<高校>

教諭	川村	光男
教諭	坂野	龍史
教諭・中学教諭	久保	優子
教諭	清水	隆博

<事務局>

総務部参事	寄川	修
-------	----	---

財務部会計課事務職員	稲垣 正織
【新規委嘱】 （再雇用含む）	
<大学>	
大学院経営情報科学研究科客員教授	蛇川 忠暉
経営学部経営学科客員教授（教授）	中川 覃夫
総合技術研究所客員教授（教授）	渡邊 藤雄
エコ電力研究センター客員教授	合田 忠弘
エコ電力研究センター客員教授	徳田 憲昭
エクステンションセンター客員教授	小林 祥晃
エクステンションセンター客員講師（高校教諭）	尾島 仁
基礎教育センター客員講師	山内 司
エクステンションセンター嘱託技術職員	岡島 宣雄
<大学事務局>	
入試センター入試センター長付＝嘱託	内藤 俊治
入試センター入試センター長付＝嘱託	安田 賢司
教学センター学生課カウンセラー＝嘱託	李 明憲
教学センター学生課カウンセラー＝嘱託	野村 幸恵
教学センター教務課有期契約職員	澤田 摩耶
キャリアセンター有期契約職員	伊藤 直美
学務部情報科学部事務室有期契約職員	長江 智春
学務部基礎教育センター有期契約職員	柴田 直美
学務部本山キャンパス事務室有期契約職員	長谷川 朋子
総合技術研究所事務室有期契約職員	銚井由美子
<高校>	
A E T＝嘱託	ジャシュワ マイヤソン
若水事務部有期契約職員	嶋 好美
<中学>	
若水事務部有期契約職員	松本 直紀
<専門学校>	
事務部有期契約職員	伊豆原利恵
【昇格】 （所属変更及び兼務、兼務解除を含む）	
<大学>	
工学部機械学科教授（准教授）	江上 泰広
経営学部経営学科教授（准教授）	後藤 時政
基礎教育センター教授（准教授）	村中 正
基礎教育センター教授（准教授）	マーク オフナー
基礎教育センター教授（准教授）	ブルース ボーランド
基礎教育センター教授（准教授）	張 新力
工学部電気学科准教授（講師）	五島敬史郎
工学部建築学科准教授（講師）	瀬古 繁喜
基礎教育センター准教授（講師）	坂本 將暢
<事務局>	
システム管理部長・情報教育支援課長（同次長・情報教育支援課長）	近藤 修司
秘書室長＝参事格（秘書室長＝主幹格）	山田 行政
財務部会計課主幹（主査）	倉地久美子
財務部会計課主査（係長）	奥野 佳宏
システム管理部情報教育支援課主査（係長）	岡田 宏行
総務部人事課事務主任（財務部会計課事務職員）	仲尾次亜紀
システム管理部システム管理課事務主任（事務職員）	金子恵理子
<大学事務局>	
事務局長・学園企画推進室長（事務局次長・学務部長・学園企画推進室長）	鈴木 康
学務部次長・助成課長・国際交流室課長（学務部助成課長・庶務課長・国際交流室課長）	井沢 清人

教学センター学生課長 (同教務課主幹)	小島 雅子
図書課長 (主幹)	加藤 直美
キャリアセンター課長 (主査)	大茂 真
キャリアセンター主幹 (主査)	奥田 好弘
教学センター教務課主査 (係長)	加藤 聡
教学センター学生課主査 (係長)	桝岡 憲司
学務部経営学部事務室主査 (係長)	中野 正博
入試センター入試広報課係長 (事務主任)	大矢 弓夏

<高校>

若水事務部係長 (事務主任)	竹内 美佳
----------------	-------

【所属変更】 (職名変更及び兼務、兼務解除を含む)

<事務局>

総務部付係長 (同学園百周年事業準備室係長)	竹松 宏
------------------------	------

<大学事務局>

学務部長兼庶務課長兼事務局財務部次長 (事務局財務部次長)	伊藤 忍
学務部工学部事務長 (教学センター学生課長)	岡森 茂
図書課主査 (学務部本山キャンパス事務室主査)	紫藤 針枝
図書課係長 (学務部基礎教育センター事務室係長)	柏本智恵美
総合技術研究所事務室係長 (図書課係長)	足立由美子
教学センター学生課事務職員 (学務部情報科学部事務室事務職員)	高田 奈美
学務部基礎教育センター事務室有期契約職員 (教学センター学生課有期契約職員)	澤田 尚江

【職名変更】

<大学事務局>

教学センター事務部長 (次長)	河野 信
入試センター事務部長・高大連携推進室次長 (同次長・高大連携推進室次長)	西尾恭一郎
キャリアセンター事務部長 (次長)	栗津 敬雄
学務部工学部事務室参事 (事務長)	立枕 孝之
図書課主幹 (課長)	柏本 純

<高校>

主事 (教頭)	後藤 芳樹
若水事務部主幹 (課長)	小島登志子

<中学>

主事 (教頭)	中根 文彦
---------	-------

【兼務】

<大学>

総合技術研究所教授	情報科学部情報科学科教授	水野 忠則
計算センター准教授	情報科学部情報科学科准教授	水野 勝教
地域防災研究センター教授	情報科学部情報科学科教授	中村 栄治
地域防災研究センター准教授	情報科学部情報科学科准教授	鳥居 一平

<事務局>

システム管理部情報教育支援課主査・総務部広報課主査 (システム管理部情報教育支援課主査)	森島 映子
--	-------

<大学事務局>

エクステンションセンター課長・学務部本山キャンパス事務長 (エクステンションセンター課長)	佐藤 正治
---	-------

【兼務解除】

(組織変更により廃止された部署の兼務解除、任期付職務、本務と兼務の入替えによる兼務解除は省略)

<大学>

専門学校長の兼務を解く	工学部電気学科教授	井 研治
大学院工学研究科長の兼務を解く	工学部応用化学科教授	酒井 忠雄
大学院経営情報科学研究科長の兼務を解く	経営学部経営学科教授・副学長	鈴木 達夫
学習支援センター長の兼務を解く	基礎教育センター教授	安藤 光史
計算センター長の兼務を解く	工学部電気学科教授	飯吉 僚
教学センター副センター長の兼務を解く	基礎教育センター教授	高木 淳

＜事務局＞			
大学事務局長・システム管理部長の兼務を解く	事務局長	三輪	博美
大学事務局次長の兼務を解く	事務局次長・総務部長	後藤	尚之
＜大学事務局＞			
学務部本山キャンパス事務長の兼務を解く	学務部経営学部事務長	高島田	孝之
【任期満了】			
＜大学＞			
工学部電気学科特任教授		小嶋	憲三
工学部機械学科特任教授		安田	仁彦
基礎教育センター特任教授		小栗	友一
【退職】			
＜大学＞			
工学部電気学科教授		植田	明照
工学部応用化学科教授・副学長		稲垣	慎二
工学部機械学科教授		岩永	弘之
工学部機械学科教授		林	二一
工学部都市環境学科教授・耐震実験センター長		青木	徹彦
工学部都市環境学科教授		四俵	正俊
工学部建築学科教授		尾形	素臣
工学部建築学科教授・学生支援本部長		坪井	常世
経営学部経営学科教授		中川	覃夫
基礎教育センター教授		服部	忠一朗
総合技術研究所教授		渡邊	藤雄
事務局エクステンションセンター次長・客員教授		佐伯	平二
＜高校＞			
校長・中学校長		佐藤	忍
教諭		浅尾	幸吉
教諭		尾島	仁
教諭		加藤	芳美
教諭		川口	敏隆
教諭		高橋	力
教諭		平田	俊之
教諭		加藤	幸伸
教諭		日比野	義行
教諭		横井	尚治
教諭		狩野	博
教諭		西郷	加代子
教諭		藤澤	和子
＜専門学校＞			
教授		掛布	英辰
【委嘱終了】			
＜大学＞			
情報科学部情報科学科客員教授		阿部	圭一
大学院経営情報科学研究科客員教授		大岩	路雄
大学院経営情報科学研究科客員教授		長谷川	武彦
総合技術研究所客員教授		椿	淳一郎
基礎教育センター客員講師		河合	博司
工学部電気学科嘱託技術職員		岡本	美昭
工学部機械学科嘱託技術職員		正木	政夫
工学部機械学科嘱託技術職員		岩田	明夫
エクステンションセンター嘱託技術職員		藤竹	英雄
＜事務局＞			
百周年事業準備室嘱託職員		若杉	和彦
システム管理部情報教育支援課有期契約職員		石川	仁美
＜大学事務局＞			
入試センター入試センター長付＝嘱託		市川	繁富

教学センター学生課カウンセラー＝嘱託
 キャリアセンター嘱託職員
 <中学>
 若水事務部嘱託職員

幡垣 加恵
 美頭甲子雄
 小田 悠祐

ますますお元気で

「平成24年度定年退職者辞令交付式」が3月29日、八草キャンパスの本部棟内で行われました。退職者は大学教員11人、高校教員9人、専門学校教員1人、事務職員1人の合わせて22人です。

式では学園、大学幹部らの見守る中、後藤淳理事長が退職者1人ひとりに辞令と記念品をそれぞれ手渡した後、挨拶し「皆さんはまだまだ元気です。残る力を社会のために尽くしてほしい。長い間、ご苦労さまでした」と励ましといたわりの言葉をかけていました。稲垣慎二副学長が退職者を代表し「学園のますますの発展を祈っています」と謝辞を述べました。

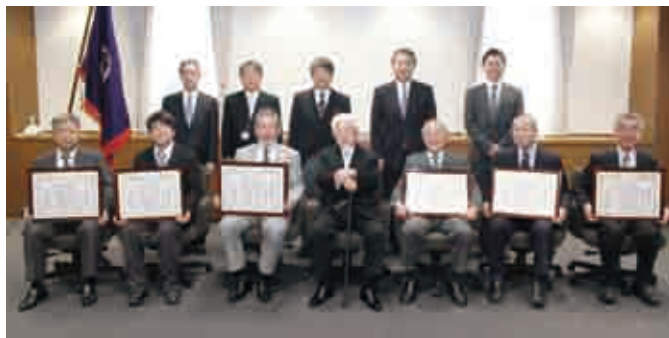


後藤淳理事長（前列右から5人目）、後藤泰之学長（同左端）を囲んで記念の写真を撮る定年退職者ら

高校の六教諭に理事長賞授与

学園は三月十四日、学園の発展に功績のあった愛工大名電高等学校の浅尾幸吉教諭ら六教諭に、「理事長賞」を贈り、長年にわたる学園への多大な貢献を称えました。理事長賞は、「学園『理事長賞』に関する内規」で、学園運営、課外活動等で学園に多大な貢献をした人に贈られます。

今回の受賞者は、浅尾幸吉、尾島仁（数学）、川口敏隆（英語）、加藤芳美、



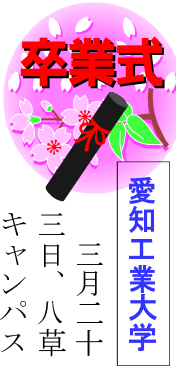
高橋力（保健体育）、平田俊之（電子）の六教諭。授賞式は、昨年の学園創立百周年記念事業で名古屋千種区の若水キャンパス内に建設された「淳和記念館」で、後藤淳理事長、後藤泰之学長、三輪博美学園事務局長、後藤尚之同事務局次長、佐藤忍校長、久保芳孝副校長が出席して行なわれました。理事長が川口教諭ら受賞者一人ひとりに賞状、記念品を手渡し「皆さんがいろいろご苦労されたことに感謝しています。まだまだ元気ですから高校へ時々、顔を見せ後輩を激励してください。本日はおめでとうございます」とお祝いの言葉を述べました。記念の写真を撮った後、懇談に移り、思い出話に花が咲き、笑い声が絶えませんでした。

【写真は後藤淳理事長（前列右から四人目）、理事長賞受賞者（前列、賞状を持つ皆さん）、後藤泰之学長（後列右から二人目）を囲み、記念の写真を撮る授賞式出席者の皆さん（淳和記念館で）】

学園・クラブ表彰の高校、中学クラブ選手健闘

学園、クラブ表彰を受けた愛工大附属中学校フエンシング部の川北信海選手（三年）が「2013年アジア・ジュニア・カデ・フエンシング選手権大会」（三月一日～七日、タイ・バンコク）のカデ男子エペ団体で2位、同個人で3位に輝きました。愛工大名電高校の卓球部男子は「第40回国高校選抜卓球大会」（三月二十四日～二十六日、札幌市）で予選リーグ1位で決勝トーナメントに進出し、決勝で希望が丘高（福岡県）に敗れたものの準優勝を果たしました。また、チアリーディング部は「第23回国高校チアリーディング選手権大会」（二月十六日～十七日、東京）の高等学校ロビション1で5位となり、将棋部も「第21回国高校文化連盟将棋新人大会」（二月一日～二日、北九州市）で遠山侑里さん（二年）が決勝トーナメントで準々決勝まで進み、ベスト8に入りました。

愛知工業大学ほか学園各設置校で卒業式、入学式



の鉀徳館で行われ
ました。卒業生は合
せて一千三百五十
二人で、工学部八百
十四人、経営学部百
八十八人、情報科学
部二百六人、大学院
修了者で博士前期課
程九十八人、博士後
期課程を修了して論
文審査に合格、博士
となった六人です。
式典は大勢の保護
者らの見守る中、後
藤泰之学長が博士後
期課程修了者で博士

三月二十
三日、八草
キャンパス



卒業生に励ましの言葉
を贈る後藤泰之学長

となった一人ひとりに博士
の学位記、博士前期課程の
代表に学位記、学部の代表
に卒業証書・学位記を授与
しました。この後の式辞で
は「本学の教育モットーで
ある『創造と人間性』を胸
に研鑽努力を重ねられ、社
会の発展に積極的に寄与さ
れることを、期待していま
す」と卒業生にエールを送
りました。
次いで挨拶に立った後藤
淳理理事長は「今後は人との
つながりが一番大事になり
ます。これらのつながり―
『絆』を大事に、ここで培
った知識、技術を活かし社
会に役立つ人になってくだ
さい」と述べました。成績
優秀者表彰に続き、卒業生
を代表し倉田和也君（機械
創造工学専攻）が、「愛知
工業大学の卒業生としての
自覚と自信を持ち、それぞ
れの分野で努力し、社会に

貢献します」と謝辞を述べ
ました。
【写真は、式場を埋めた
卒業生、保護者】

愛工大名電高等学校



最後として式辞を
述べる佐藤校長
先生と卒業生の
卒業式で

三月一日、喬徳館で卒業
生、保護者を迎えて行なわ
れました。卒業生は科学技
術科、情報科学科、普通科
合わせて五百六十五人。
校長先生として最後の卒
業式となる佐藤忍校長が各
科の代表に卒業証書を授与
し、「感動に生きる人生を
送ってください。名残りは
尽きませんが、この学舎を
巣立ちゆく皆さんの前途に
幸多からんことを祈ってい
ます」と卒業生に、はなむ
けの言葉を贈りました。後
藤淳理理事長は学園創立百周
年に触れながら「(百周年
は)皆さん一人ひとりに刻
み込まれており、それを胸
に秘め、自分の将来をしっ
かりと見つめ、社会へ羽ば

愛工大情報電子専門学校

たいてくださいます」と励まし
ました。
卒業生を代表し、小林汐
里さんが心に響く答辞を述
べ、卒業式を締めくくりま
した。



後藤淳理理事長（左から2人目）らと学園歌
を歌い、学び舎に別れを告げる卒業生

三月十五日、豊田市陣中
町の同校四階で後藤淳理事
長、後藤泰之学長、小栗保
宏豊田市産業部長、磯村義
安愛知県専修学校各種学校
連合会会長、市川佳希同窓
会会長らを迎えて行なわれ
ました。卒業生は高度情報
処理学科（三年制、二年制
各課程）、情報工学科、電
子制御学科、CAD・CA
M学科合わせて六十六人。
式では、井研治校長の式
辞、後藤淳理理事長の挨拶な

愛工大附属中学校

どに続き、卒業生を代表し
柏木勇輝君（CAD・CA
M学科）が謝辞を述べ、最
後に全員で学園歌を歌い、
式を終えました。



卒業生に励ましの言葉を
かける後藤淳理理事長

三月十四日、学園創立百
周年記念事業として造られ
た「淳和記念館」体育館を
初めて会場にして行なわれ
ました。
佐藤忍校長が卒業生百人
の代表、青山幸嗣君に卒
業証書を授与し「今日は中
学の課程と義務教育九九年
の修了という新たな旅立ち
の時です」と、また、後藤
淳理理事長も「自分の進む目
標へ向かってつき進んでく
ださい」とそれぞれ励まし
の言葉を贈りました。卒業
生を代表し五島稜大君が、
「『誠実・勤勉』の校訓を
忘れずに困難を乗り越えて
いきます」と答辞を述べま
した。

入学おめでとう

新しい門出と仲間入りを祝福



【写真は、上が新生を前に歓迎の言葉を述べる後藤泰之学長。右は、新生を代表して宣誓する丹羽巧君】

四月二日、満開の桜に彩られた八草キヤンパス鉦徳館で行われ、学部二千四百九十二人、大学院百十三人の計一千六百五人が大学の仲間入りを果たし、新しい一歩を踏み出しました。

愛知工業大学

四月二日、満開の桜に彩られた八草キヤンパス鉦徳館で行われ、学部二千四百九十二人、大学院百十三人の計一千六百五人が大学の仲間入りを果たし、新しい一歩を踏み出しました。



式典は恒例の本学管弦楽団による「祝典進行曲」の演奏に続き、



【写真は、上が新生を前に歓迎の言葉を述べる後藤泰之学長。右は、新生を代表して宣誓する丹羽巧君】

四月六日、喬徳館で普通科、科学技術科、情報科学科合わせ六百四十三人の新生を迎えて行なわれました。

愛工大名電高等学校

四月六日、喬徳館で普通科、科学技術科、情報科学科合わせ六百四十三人の新生を迎えて行なわれました。

新しく校長となった久保芳孝校長が入学許可宣言をした後、「孔子の論語にあるようにこの十五の春に、『学に志す』決意をして学習や部活動を通じ、大きく成長されることを切に期待しています」とお祝いの言葉を述べました。

愛工大情報電子専門学校



四月八日、四階の教室で行なわれ、二校長が八十九人の新生を前に、「皆さんの前途は多様な可能性に満ちています。何事にも明るく、積極的に取り組んでください」と祝辞を述べ、後藤淳理事長は「新しい技術を身につけ、社会に貢献できる人になつてほしい」と励ましました。

愛工大附属中学校



高校の入学式に続き、「淳和記念館」の体育館を初の会場に行なわれました。



【写真は、上が新生を前に歓迎の言葉を述べる後藤泰之学長。右は、新生を代表して宣誓する丹羽巧君】

後藤淳理事長は挨拶の中で、「高校で将来の方向が決まってくる。大事な人とのつながりも含め中途半端でなく、何事にも全力で取り組んでください」と呼びかけました。

新生代表の宇井一希君（CAD・CAM学科）が誓いの言葉を述べ、式を終え、引き続き「夢を実現させるため決意を固め、日々、努力を怠らぬ」と宣誓しました。

八草キャンパスから

豊田市と連携し「まちづくり」に協力

大学は三月二十九日、豊田市と包括連携協定を結びました。豊田

市の呼びかけによる今回の包括連携協定は、市内にキャンパスを有する大学、高等専門学校と市がそれぞれの知的、人的資源などを活用し連携強化を図り、地域社会の発展、人材育成を推進するのが目的です。

参加校は、本学のほか愛知学泉大学、中京大学、日本赤十字豊田看護大学と豊田工業高等専門学校の五校です。具体的な事業等は今後、市と各校で構成する連携推進会議（仮称）で協議し、豊田市、大学・高専双



協定書に調印後、協定書を取り交わし太田市長と握手する後藤泰之学長

方にとり有益で継続性のある連携を構築します。

学長が協定書に調印

協定締結式は豊田市役所で、太田稔彦豊田市長と本学の後藤泰之学長を含む五校の理事長、学長、校長が出席して行なわれました。市側を代表し太田市長の挨拶に続き、後藤泰之学長が「本学は、『ものづくり』の実学教育に取り組んでおり、市の各分野で多くの卒業生が活躍しています。今回の協定については、学生参加のまちづくり支援など本学の様々な資源が市の活性化につながれば、と思います」と述べました。

この後、市、大学、高等専門学校関係者、報道陣が見守る中、太田市長、後藤泰之学長ら参加校が協定書に署名し、各校ごとに市長と協定書を取り交わしました。

揚州大学から訪日団が来学

本学と学術交流及び学生交流協定を結んでいる「揚州大学訪



日団」が三月二十九日、八草キャンパスを訪れ、後藤泰之学長らと歓談し、交流を深めました。

揚州大学は揚州市内の揚州工学院など六大学が統合して出来た大学で学部二十八、大学院十三、学生総数四万四千五百人を数えます。国際交流室が窓口となり一昨年、学術交流と学生交流の各協定を結びました。既に揚州大学の謝安君が昨年四月、交換学生として応用化学科に入学し三月まで学んでいました。一行は范健副学長ら教職員合わせて十人で、八草キャンパスのAITプラザで後藤泰之学長、櫛田玄一郎国際交流室室長、成田国朝工

学部長らと歓談しました。【写真は、記念写真を撮る両大関係者】



戸伏教授らの研究成果米国で出版

形状記憶材料等の研究で知られる戸伏壽昭機械学科教授を中心に松井良介機械学科講師、大学院博士後期課程生産・建設工学専攻三年武田亘平君、ピエチエスカ・ポーランド科学アカデミー教授の手による専門書『Mechanical Memory Materials of Shape Memory Materials (形状記憶材料の力学的特性)』が四月下旬、米国ニューヨークのNova Science Publishers (ノバ科学出版社) から出版されました。



米国の出版社が出版した英文の著作を手にする戸伏教授と松井講師(右端)と武田大学院生

しており、特にピエチエスカ教授と様々な共同研究を行っています。

今回、米国の出版社から「科学関係のシリーズ本を出版するので、そのうちの一冊を形状記憶合金等に関する研究分野で世界的に知られている愛工大の戸伏教授にお願いしたい」と、昨年六月ごろ執筆依頼がありました。教授は自身の研究成果のほか、ピエチエスカ教授、形状記憶合金の傾斜機能化の研究などに取り組んでいる松井講師、武田大学院生との共同研究などを取りまとめ、昨年、出版社へ原稿を送りました。

出版社と細部についてきめ細かく詰めた後、今年四月下旬に出版されました。専門書は英文で二十一章、二百六十七ページ。▽形状記憶合金▽形状記憶ポリマ

ー▽形状記憶合金と形状記憶ポリマーの複合材料に係わる三つが主で、戸伏教授の研究が基本となっています。戸伏教授は「この専門書は私の研究の集大成といえ、松井講師ら若手研究者の励みになればと思っています」と話しています。

快挙！県下で初 高校将棋部が男女そろって全国大会団体戦へ出場

高校将棋部が七月に開催される「第49回全国高校将棋選手権大会」団体戦に男女そろって出場を果たしました。全国大会団体戦に県下から同一校の男子、女子チームが出場するのは初めて、また、女子は昨年の全国大会優勝に次いで連続出場という快挙です。



上は長崎県で開催の全国高校将棋選手権大会団体戦へ出場する男子チームの久野選手、秋山選手、松本選手と顧問の原野教諭（右から）。下は女子チームの水野葵選手、水野翠選手、遠山選手（右から）

手（二年）です。

男子は五月三日、名古屋高校で行われた全国高校将棋選手権大会愛知県大会で予選を全勝で突破し、決勝トーナメントに進出。東海高Dを3-0、東海高Aを2-1、準決勝で誠信高を3-0で退け、決勝でも強豪の瑞陵Aを3-0で破って、全国大会の切符を手に入れました。一昨年に続いて二度目です。



2年連続受賞に輝く



森田さんと指導教員の水野准教授

大学の水野研究室（水野慎士情報科学科准教授）に所属していた森田文菜さん（四月に情報科学科卒業）が三月七日、東北大学川内キャンパス（仙台市）で開かれた「情報処理学会第75回全国大会」

勝県は出場枠が2となることから同じ日に団体戦を行い、本校のほかにも南山女子高が決まりました。全国大会団体戦は七月三十一日〜八月一日、長崎県時津町で行われます。顧問の原野照久教諭は「男子は上位に強豪高がそろっているが、組み合わせで上位も狙える。女子はベスト3に入るのとは間違いなく、楽しみ」と話しています。

の学生セッションで、学生奨励賞を受賞しました。同研究室の学生奨励賞受賞は昨年に次いで二年連続となります。森田さんは昨年四月から水野准教授の指導で、だれとでもコミュニケーションのできるタブレット等の普及が逆に家庭内の会話を少なくさせていると、一緒にゲームなどを楽しめればコミュニケーションも活発になるのではと、大タッチディスプレイを用いた知的情報システムについて研究。家族で会話の材料になるものと、部屋の壁紙変更、家具のレイアウトなど三つを選択。それらをキネクト（コントローラを用いずに操作できる体感型のゲームシステム）等を利用し、タブレット端末と同じく画面に指タッチすることで壁紙の張り替えなどが三次元CGで再現できるようにしました。

昨年、学園は「創立百周年」を祝いました▼大学は百周年で企画していた学生に「ものづくり」の喜び、感動を味わわせたいとこの夏、映画製作に乗り出します▼映画製作というと「築城せよ！」が思い出されま▼四年前、大学の開学五十周年記念事業として作られました▼完成した映画は名古屋市ほか全国の映画館で上映されました▼それもすごいことでしたが、映画製作に学生が全面的に携わったことです▼映画のメイソン、段ボール城の段ボールの回収作業から徹夜に及ぶことも珍しくなかったロケの様々な所で学生が頑張っていました▼参加した学生の目がキラキラしていたことは今も忘れられません▼皆を夢中にさせた映画の不思議な力▼映画製作を再び呼びかけた後藤泰之学長▼学長から冒頭に挙げた映画製作への思いは、何度も耳にしました▼その熱い思いは、痛いほど分かります▼今回は学生が主体の「映画製作」を、みんなで協力し成功させましょう。（久）

編集後記